

# 平成29年度能勢町一般会計予算可決！

予算内容を深く専門的に審議するため、各常任委員会で審査を行いました。

## 環境教育常任委員会報告

委員長 大西 則宏

3月10日および13日、15日に本委員会に付託されました「平成29年度能勢町一般会計予算」のうち、環境創造部、教育委員会の予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

**問** 町道の維持管理、特に降雪時の対応はどうか。また、通学路に関して、学校との連携体制は。

**答** 町道の維持管理については、要望のあった場所と町確認箇所を並行して進めているが、件数が多く対応が遅れている。今年の降雪時には、町道平野線と通学バス路線町道を中心に職員により対応した。学校には融雪剤を提供し、校内および学校周辺の除雪対応を実施した。

**問** 60歳の成人式の実施内容・目的は何か。

**答** 対象は平成29年度に60歳を迎える方で、全員に郵送案内する。実施期日・内容については、対象者のライフスタイルに合わせ、名称も含めて検討中である。事業実施により、能勢が抱える社会的・地域的課題解決に取り組んでいただける人材の確保も事業成果として考えている。

**問** 学力向上に関しては、新学校が開校し、規模が大きくなったことで、きめ細やかな指導がしづらくなっていないか。平均にとらわれるだけでなく、全体の底上げが肝心であると考え、取り組みは。

**答** 新学校開校を契機として、さらに組織的に取り組み、教員の指導力向上に努めていく。また、子どもたちが自主的に学ぶということを主眼に、向上心を高める教育を進めていきたい。

**問** 能勢町の情報発信に関して、マスコミや関係機関との連携を進めることが必要ではないか。

**答** イベント開催時には、記者クラブ・各新聞社の文化担当に発信している。また、大阪観光局に能勢の風景PR情報を積極的に提供するとともに、能勢電アトラインと連携し能勢の情報発信を行っている。

**問** 新規就農者の確保、自立後の支援体制はどうなっているのか。

**答** 制度申請時の面接で、経営形態・生産物の内容を協議のうえ、計画書作成のアドバイスを行っている。支援体制については、新規だけでなく全農業者にも、将来、競争力のある農業経営が可能となるよう、フォローしている。

**問** 「能勢の郷」の維持管理・運営についての状況はどうか。

**答** 委託料を計上し、草刈り等の景観管理を行う。施設保全是修繕費で対応する。運営については、自然公園・観光振興を中心に2年以内の事業開始を目標として、能勢町観光協会による指定管理の方向で検討中である。

**問** 平成29年度から始まる合併浄化槽補助について、申請件数の上限と補助対象は。

**答** 申請件数については補正対応するが、国の予算範囲があるため単年度あたりの上限はある。補助は、新規だけでなくやり替えも対象としている。

続いて、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計、それぞれの予算内容を審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

1月26日、環境教育常任委員会を開催し、安心・安全な通学対策及びささゆり学園の運営状況について調査しました。府道能勢猪名川線歩行空間整備工事の概要、町道平野線2工区歩行空間整備工事の状況、バイパス道路工事全般の進ちょくと供用開始予定時期、ささゆり学園校歌の内容、冬季降雪時の道路安全対策及びスクールバスの安全運行、国道173号線とバイパス道路接点における国道右折レーンの安全性が、主な項目です。